

第 33 回水郷水都全国会議 in 朝倉・久留米

大会テーマ

九州北部豪雨に学ぶ減災と復興

～自然、文化とともに暮らしを取り戻すには～



日 程 2018年4月21日(土) 10:50 災害現地見学※要申込

集合 JR久留米駅水天宮口(西口)

18:00 懇親会(ブリヂストンクラブ)※要申込

4月22日(日) 9:00 全体会(基調講演、報告会)※申込不要

会場 久留米大学御井(みい)キャンパス

主 催 第33回水郷水都全国会議 in 朝倉・久留米実行委員会

朝倉市まちづくり新チャレンジ大学、筑後川流域連携倶楽部、久留米大学経済社会研究所

九大災害支援団、城原川を考える会、古賀河川図書館、筑後川水問題研究会

後 援 福岡県

申込先・問い合わせ先

〒830-0032 福岡県久留米市東町1-20 大和ビル2F久留米第一法律事務所気付

電話番号 0942-38-8050、FAX番号 0942-38-0850

携帯番号 080-6437-7719(どい) メールアドレス doi.kunji@gmail.com

第 33 回水郷水都全国会議 in 朝倉・久留米開催要項

九州北部豪雨に学ぶ減災と復興～自然、文化とともに暮らしを取り戻すには

2017年7月5日、記録的な豪雨により朝倉市、東峰村、日田市の中山間地は樹齢50年もの木が根こそぎ流出、土砂・流木による橋、道路、鉄道、ため池の決壊、川筋が変貌する大規模地形改変に見舞われた。近年常態化したともいえる異常豪雨による大災害は、従来の想定された確率に基づくハード面の防災計画の限界を突きつけた。本会議は全国から被災地の朝倉市、東峰村を訪ね、壊滅的な被災を乗り越え、継承されてきた文化、景観とともに暮らしを取り戻すには何が必要なのか、中山間地の減災と復興を考える。

開催日 2018年4月21日(土)～22日(日)

会場 久留米大学御井^{みい}キャンパス御井本館6階(福岡県久留米市御井町1635)

日程 4月21日(土) 11:00 災害現地見学※要申込 参加費 2,500円

集合 JR久留米駅水天宮口(西口)

18:00 懇親会(ブリヂストンクラブ)※要申込 会費 4,500円

20:00 実行委員会会議、大会宣言作成

4月22日(日) 全体会 ※申込不要 参加費 1,000円

9:00 開会・実行委員長挨拶

9:10 基調講演 「地域の声を防災に生かす(仮題)」

講師 島谷幸宏(北部豪雨調査団長・九大災害支援団)

10:10 報告会 「自然、文化とともに暮らしを取り戻すには」

平田昌之(流域連携倶楽部)「被災現地報告」

伊藤陸人(松末地区)「復興への地域の取り組み」

寺村 淳(九大)「災害史をふまえた被災分析と対策」

日田市地域おこし協力隊・久留米大学学生ボランティア

「災害ボランティアの活動と問題点」

佐藤宣子(九大)「森林政策における流木災害・減災の視点から」

黒木貴一(福教大)「筑後川流域の豪雨災害と水の動き」

島谷幸宏 コメンテーター

12:30 大会宣言、閉会

12:40 次期開催地挨拶



久留米市内地図

久留米大学御井キャンパス

久留米大学御井キャンパスまでの交通アクセス

1. 福岡空港から地下鉄で天神へ西鉄電車で西鉄久留米駅へ、西鉄バスで信愛女学院行きにて朝妻または久留米大学前下車徒歩 10 分
2. 福岡空港から高速バスで西鉄久留米駅へ、西鉄バスで信愛女学院行きにて朝妻または久留米大学前下車徒歩 10 分
3. JR久留米から西鉄バスで信愛女学院行きにて朝妻または久留米大学前下車徒歩 10 分
4. 九州自動車道久留米インターから下車 5 分